

真鍋 博 MANABE Hiroshi

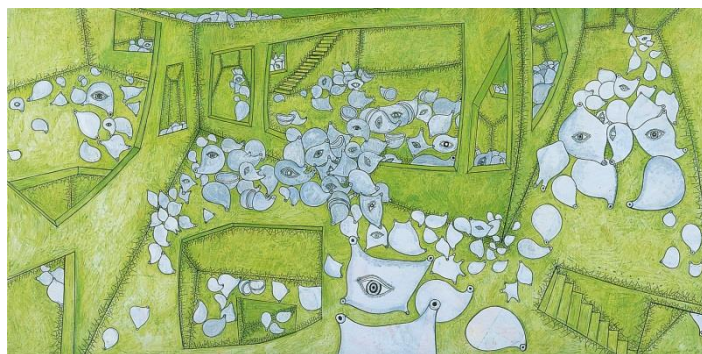
イラストレーターとして活躍した真鍋博(1932-2000/新居浜市出身)は、SF、ミステリー小説の表紙や挿絵、未来を描いたイラストで広く親しまれました。約40年間に手がけた印刷物の原画は、クライアントに原画の返却を求めた結果、自身の手元に大半の原画が残されることとなり、その印刷物の原画を中心に約8,900点の作品をご遺族の方からご寄贈いただき、真鍋の仕事を網羅できるコレクションとなっています。

コレクションには、イラストレーターとなる以前の活動を示す二紀会や読売アンデパンダン展、タケミヤ画廊などで発表した油彩画や草月アートセンターで上映したアニメーションのフィルムや絵コンテをはじめ、若き真鍋の果敢な挑戦がうかがい知れる作品も含まれています。



《蒲団》

1955(昭和30)年
油彩・鉛筆／画布
161.0×255.0cm



《都会主義者》

1955(昭和30)年
油彩／画布
91.3×183.5cm



『愛媛の昔語り』タヌキのあだうち／
真鍋博著／朝日出版 挿絵

1960(昭和35)年
墨、スクリーントーン／紙
13.2×12.8cm



『悪魔のいる天国』もたらされた文明
／星新一著／中央公論社 挿絵

1961(昭和36)年
墨・ポスターカラー・コピー／紙
18.1×12.9cm



『アンドロイドは電気羊の夢をみるか？
(ハヤカワSFシリーズ)』フィリップ・ディック著・朝倉久志訳／早川書房 表紙

1969(昭和44)年
ポスターカラー・写真／紙
26.0×18.0cm



『2001年の日本』国際通信／

加藤秀俊・真鍋博・朝日新聞社共同編集／朝日新聞社 挿絵

1969(昭和44)年

ポスターカラー・墨・コラージュ／紙

23.3×20.0cm

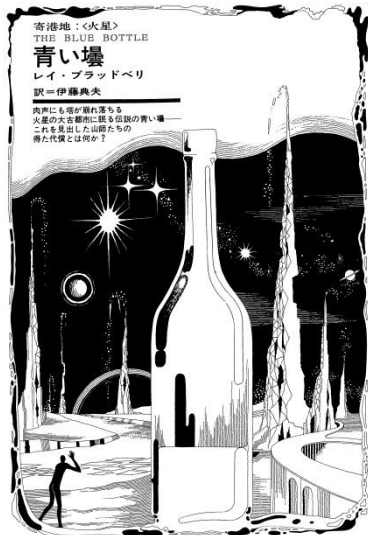


『七瀬ふたたび』筒井康隆著／新潮社 カバー表紙

1975(昭和50)年

墨／紙(色鉛筆、トレーシングペーパー)

26.4×35.7cm



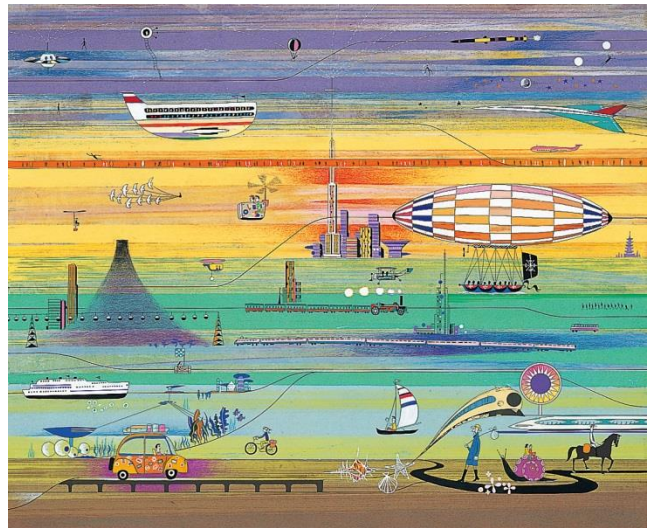
『SFマガジン 1966年6月号』

世界の終り／F.L.ウォーレス著・大野二郎訳／早川書房 挿絵

1966(昭和41)年

墨・ポスターカラー／紙

23.0×13.6cm



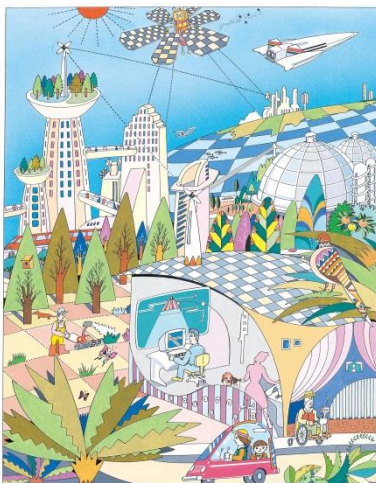
《大気は走り、地球は巡る》『旅 1971年4月号』日本交通公社

挿絵

1971(昭和46)年

インク・ポスターカラー・色鉛筆／紙

31.5×38.3cm



『朝日新聞夕刊 1994年12月24日』「ウィークエンド経済」ちょっと早めの新年号

いまは2045年／朝日新聞社 挿絵

1994(平成6)年

墨・ポスターカラー／紙

35.5×28.5cm